

参加報告書

- 参加プログラム：ドイツ語現地実習・CDCミュンヘン校
- 学部・学科：人文学部ヨーロッパ文化学科
- 留学時の学年：2年

今回の留学では、1年次から勉強しているドイツ語の語学力向上を目的にしました。一ヶ月という短い期間であったので、語学力の向上以外にも、その短い期間でどれだけドイツの文化や空気感に触れられるかを意識して生活しました。例えば、毎週末には行き先を決めて必ずどこかに旅行や散歩に出かけること、学校終わりであればクラスメイトを誘ってご飯に行くことなどです。今回の留学では、平日はミュンヘン市内、週末はミュンヘン以外にもライプツィヒ、ドレスデン、ベルリンなど、ミュンヘンから離れた大都市に旅行に出かけました。それぞれの地域で観光名所を回ったり、日本との違い、ミュンヘンとの違いを感じられるようにも意識しました。

クラスメイトとは、ペア学習などを通じてたくさん会話をしたり、少し早めに学校に行くことで先生や早く来た生徒と会話を楽しむ工夫もしました。

家での生活では、特に日本との違いを意識せざるを得ませんでした。その違いに驚きながらも、一つの文化として受け入れることができたのは、この留学における一つの成長だったのかなと個人的には感じました。

今後は、この現地でしか得られなかった経験をもとに、周りの人にも現地の様子を共有することで、インターネットなどで拡散されている間違った情報を正していくようにしつつ、クラスメイトやホストファミリーとは今後もたくさん連絡を取ることで、日本に来た時や自分がもう一度ドイツに行く機会ができたときに再会できるようにしていきたいです。

